

CITY OF YOKOHAMA

小雀浄水場の 将来的な廃止について

横浜市水道局
計画課・経営企画課

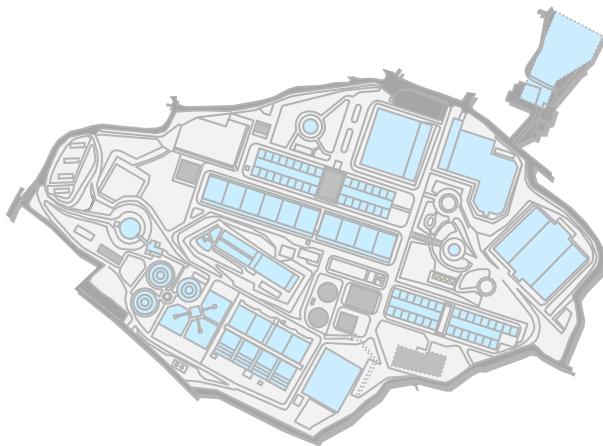
令和6年2月

明日をひらく都市
OPEN × PIONEER

小雀浄水場の概要

明日をひらく都市
OPEN × PIONEER
YOKOHAMA

■ 小雀浄水場は、高度経済成長期の水道の需要増加に対応するため、ダムの建設などを行った上で、横須賀市と共同で建設しました。建設から約60年が経過しており、老朽化が進んでいる状況です。



- 所在地 : 戸塚区小雀町2470
- 敷地面積 : 237,905m²
- 施設能力 : 82万m³/日
- 建設年度 : 昭和40年3月

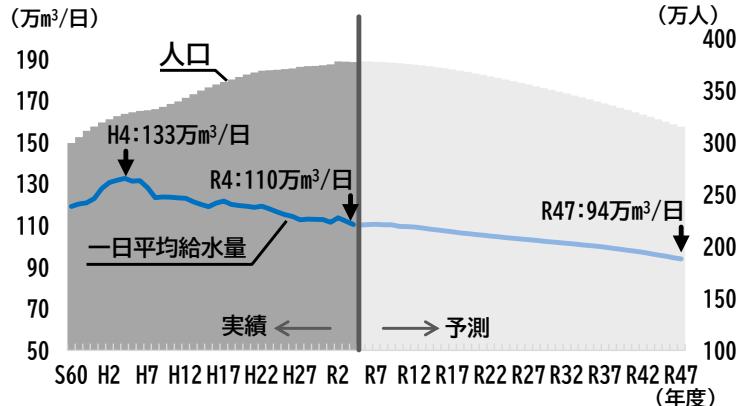
水道水の需要の急増に対応するため、より多くの水を取水できるように、支川が流入する相模川の下流からポンプで取水しています。



横浜市の水道がやらなければいけないこと

明日をひらく都市
OPEN × PIONEER
YOKOHAMA

■ 水道施設は、水道水が使われる量にあわせて、大きすぎず、小さすぎず、ちょうどいい規模にしておかなければいけません。



- 水道水の使用量は、平成4年をピークに減り続けています。※1



- 横浜市には3つの浄水場※2のほか、約9,300kmの管路など多くの施設があります。

※1 令和5年度以降の数字は、令和5年度に実施した水需要予測における推計値

※2 写真是、小雀浄水場（戸塚区）

そこで、横浜市の水道がやること

明日をひらく都市
OPEN × PIONEER
YOKOHAMA

■ 小雀浄水場は、将来の水道を考える上で、多くの課題があります。 そこで、令和22年度に小雀浄水場の浄水処理をやめることにしました。



- 施設の更新には
多額の費用を要します。
- 河川の下流から浄水場まで
水を届けるため、ポンプで
約60mくみ上げています。
- 河川への汚染物質混入・
ポンプ停止のリスクが
あります。

※1 取水施設から小雀浄水場までを更新した場合における横浜市（上水道）の負担試算額：約691億円

※2 取水施設から小雀浄水場（送水ポンプ含む）までの電力消費量：約9,000万kWh（令和4年度実績値）

小雀浄水場を廃止すると、どうなるか

■ 給水の安定性を維持し、コストを抑え環境にやさしい水道になります。



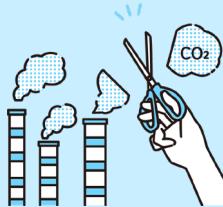
施設整備費用削減

約**194億**円^{※1}

維持管理費用削減

約**1.9億**
～5.3億円/年^{※1・2}

- 古くなった施設を新しくしたり、施設を動かす・直すための費用を減らすことができます。



温室効果ガス排出量削減

約**1,800**
～9,600t-CO2/年^{※1・2}

- 水を送るためのポンプを使わず、電気の使用量を減らすことで、脱炭素化につながります。

子供たちの世代など、将来の横浜市民のためにも、
安全で安心な、環境にやさしい水道施設を引き継いでいきます。

※1 「小雀浄水場を縮小して更新した場合」と「必要な施設整備を行った上で廃止した場合」の差

※2 将来的に取水する場所について検討・協議中のため、効果が異なる。(ポンプが必要な場所は電力消費量が大きくなる)



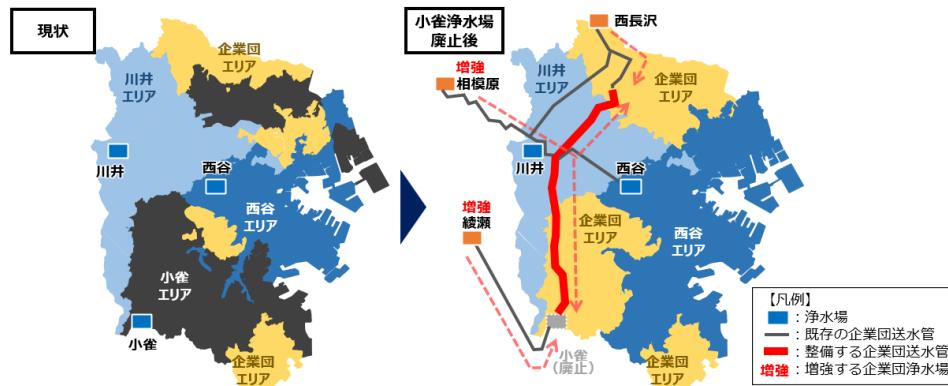
ギモンにお答えします

Q

小雀浄水場がなくなったら
どこから水が来るの？



小雀浄水場で供給していたエリアには、
主に「神奈川県内広域水道企業団※」の浄水場の水をお配りします。



※ 神奈川県、横浜市、川崎市、横須賀市の4団体が、水道施設の広域的利用や水道施設の重複投資を避けるなどの目的のため、昭和44年に設立した「用水供給事業者（水道水を都市に卸売りする団体）」
企業団浄水場の増強・送水管路等の整備を行うことで、小雀浄水場から供給していたエリアをカバー

ギモンにお答えします

明日をひらく都市
OPEN × PIONEER
YOKOHAMA

Q

蛇口から出る水は変わるの？



ご家庭の蛇口からは、これまでどおり、
水道水質基準※に適合した安全で良質な水が出ます。



水質検査のようす

※ 水道法第4条に基づく水質基準は、水質基準に関する省令（平成15年5月30日厚生労働省令第101号）により、定められている。水道水は、水質基準に適合するものでなければならず、水道法により、水道事業体等に検査の義務が課されている。

ギモンにお答えします

明日をひらく都市
OPEN × PIONEER
YOKOHAMA

Q

施設を廃止したら、
災害時に水が出なくなってしまわないの？



横浜市では、「災害などで1つの浄水場が止まっても、給水が可能」となるよう施設を整備しています。

小雀浄水場にある既存の「配水池」はこれまでどおり使うため、災害時における給水所※としての機能は維持します。



※ 配水池は、災害時に断水が発生したときに誰でも飲料水が得られる場所「災害時給水所」のひとつ（災害に備えて、ご自宅や職場の近くにある「災害時給水所」の場所を確認しておきましょう！）

<https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/sumai-kurashi/suido-gesui/suido/torikumi/saigai/oukyu-kyusui.html#CBF60>

ギモンにお答えします

明日をひらく都市
OPEN × PIONEER
YOKOHAMA

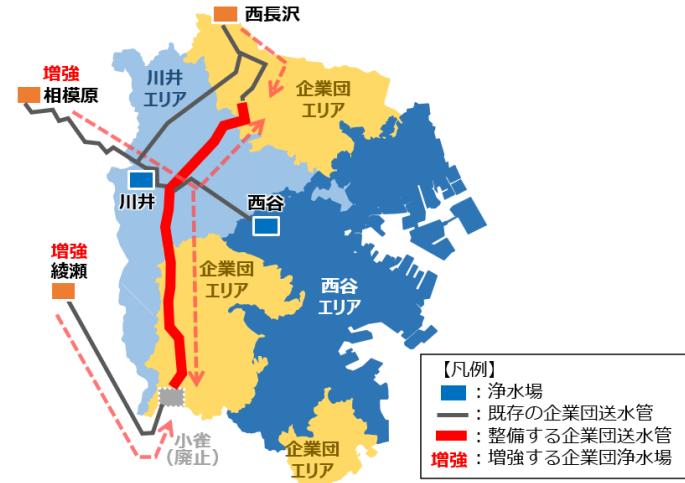
Q

廃止に向けて、
今後大きな工事があるの？



令和22年度に小雀浄水場を廃止するまでの間に、他の浄水場から水を送れるようにするための工事を行います。

また、23年度以降は、小雀浄水場の使わなくなった施設を撤去するための工事を行います。



ギモンにお答えします

Q

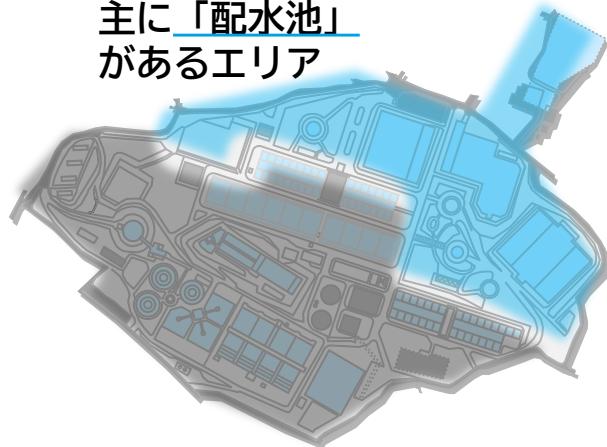
小雀浄水場があった場所はどうなるの？



市内の安定給水のため、
「配水池」は存続します。
配水池以外の施設をどこまで
撤去するのかについては、
令和9年度までに検討※していきます。



主に「配水池」
があるエリア



主に「浄水施設」があるエリア

※ 廃止のために必要な施設整備や既存施設の撤去など、必要な取組についてまとめた計画を策定する予定

ギモンにお答えします

明日をひらく都市
OPEN × PIONEER
YOKOHAMA

Q

小雀浄水場をなくすと、
水道料金は安くなるの？



水道局には、小雀浄水場以外にも水管など多くの施設があります。

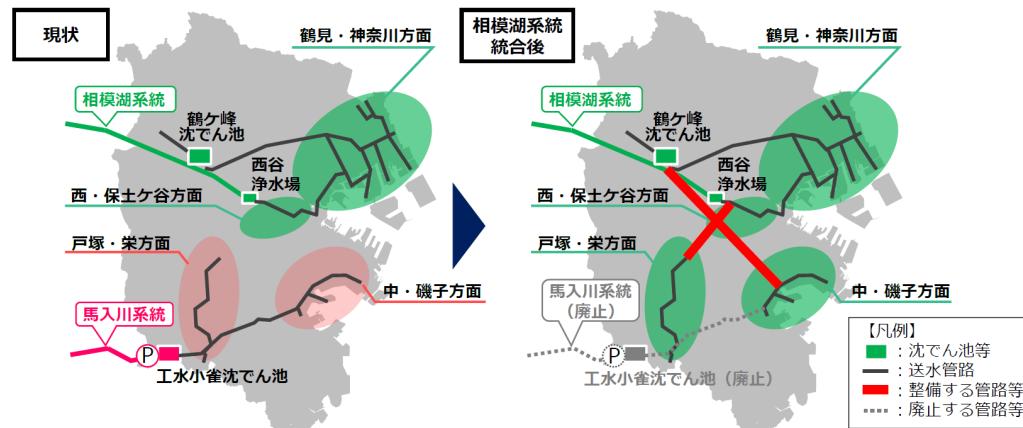
将来にわたり安定して水をお届けするためには、これらの施設を適切に更新・耐震化していく必要があります。

このため、水道料金を安くすることは難しい状況です。

小雀浄水場を廃止することにより削減された経費は、古くなった水管の入れ替えなどに活用していきます。

【参考】工業用水道施設の将来

■ 小雀浄水場には、工業用水道※の施設もあります。
小雀浄水場から配っていた戸塚区、栄区、中区、磯子区の
ユーザー企業に対しては、
主に鶴ヶ峰沈でん池からの給水に切り替えていきます。



※ 工場などにおいて、冷却用水、ボイラー用水、製品処理用水、洗浄用水など工業用として使用される水を供給する水道
工場地帯における地下水の過剰な汲み上げによる地盤沈下を防止するなど、環境に大きく貢献
上水道のような薬品処理やろ過処理の工程を行わず、基本的に原水を沈でん処理するだけなので、経済的な水道として用水を供給